



2022年6月27日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第71号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. コートジボワールの雨は、カカオの主要作物の早期成長に役立つ(6/20)

コートジボワールのカカオ栽培地域の大部分で先週降った大雨が、来年10月から3月のメインクロップの発育を後押しすると、生産者は20日発表した。世界一のカカオ生産国であるコートジボワールは、4月から11月中旬まで雨季に入る。

生産者は、4月から9月のミッドクロップが好調に終わり、8月中旬から9月下旬にかけてかなりの量のさやが収穫されると予想していると述べた。

今の天候が、開花し始めたこれからのメインクロップの大きさを決めることになる。来月は定期的な雨が必要で、開花を促し、シーズンを力強くスタートさせることができると生産者は述べている。

「今週はたくさん雨が降りました。花が木に付き始めました」と、南部のアグボビルで農業を営むオリビエ・ボカ氏は語った。先週は、過去5年間の平均を39.7mm上回る103.2mmの雨が降った。

東部のアベンゲールでは、先週82.7ミリの雨が降り、平均より26.1ミリ多いということで、生産者も同様のコメントをしている。ボングアヌーとヤムスクロの中央地域でも、雨は平均を上回った。

西部のソブレ地方、南部のディボ地方、中央西部のダロア地方では、先週の雨は平均以下であったため、生産者は、メインクロップの発育を強化するために、来月はもっと雨が必要であると述べている。

「開花は始まっているが、メインクロップの収穫を豊かにするためには7月にもっと雨が必要だ」と、ソブレ近郊で農業を営む生産者は言った。先週は24.7mmの雨が降り、平均より32.4mm少なくなっている。

コートジボワールの先週の平均気温は25度から27度であった。

2. アフリカカカオ：雨は作物に恩恵を与えるが、輸送の頭痛の種(6/20)

コートジボワールとガーナでは豪雨がカカオの収穫を助け続けているが、農園へのアクセスや収穫した豆の輸送はますます困難になってきている。

生産量第1位のコートジボワール南東部アクーペの生産者、アレクシス・ノチョ・ンデポ氏によると、ここ数日の豪雨と雷雨で道路や橋に被害が出ているという。そのため、農園での作業や、生産者が収穫物を販売する集荷センターへのカカオの移動が困難になっています。

「今年の雨は昨年よりも深刻です」と同氏は言います。「カカオ農園に収穫に行くこともできず、村に何日も滞在することになるのです」。

第2位の生産国であるガーナでも同様に、多くの地域で洪水による道路の被害が出ています。コートジボワールとの南西部国境付近の生産者、フランシス・アギャベンは、政府からの重要な投入資材や農薬の納入の遅れを心配する農民もいるという。

西アフリカの他の地域では、ナイジェリアの南東部で雨が弱まり、イコム近郊のヤウンデの生産者によれば、木の上の多くのポッドを破壊した雷雨から回復しつつあると説明した。

3. JB FOODS(=JB COCOA)、コートジボワールの新カカオ磨砕工場に6300万ドルを投資(6/24)

JB COCOAとして知られるJB FOODSは、6000万ユーロ(6320万ドル)を投じて、コートジボワールのアビジャンに新しいカカオ磨砕工場を建設するとプレスリリースで発表した。

この木曜日のプレスリリースによると、今回の投資により、最新のコートジボワール工場はアジアにある既存の工場を補完し、また、コートジボワールの国内雇用機会を創出すると述べている。

工場は工業地帯PK24に位置し、2024年の第4四半期までに準備が整う予定であるとのこと。

4. 2022年第1四半期、ガーナの経済成長率は3.3%に鈍化(6/23)

ガーナ統計局(GSS)は6月21日(水)、2022年第1四半期のガーナ経済が3.3%拡大し、前年同期と比較して成長率が鈍化したことを発表。

政府統計官のサミュエル・コビナ・アニム教授は、2021年の最終四半期に7%、2021年の第1四半期に3.6%の成長率を記録したことに触れ、「これは、COVID-19時代に記録した縮小を差し引くと、最も低い成長率です」と述べました。

暫定的な実質国内総生産(GDP)の数量ベースの成長は、サービスおよび農業部門である情報通信(0.1%)、農作物とカカオ(0.9%)、輸送と貯蔵(0.4%)、製造(0.3%)、自動車修理、家庭用品などの貿易によって主に促進されました。

季節調整により、2022年1月から3月の実質GDPは0.9%増加した為、昨年同時期の3.6%を1ポイント下回る結果となった。

当期購入者価格でのGDPは、前年同期の1,156.9億GHSに対し、1,383.9億GHS(174.8億ドル)と推定される。非石油部門のGDP成長率は、前年同期の5.3%に対し3.7%となりました。

前年の同時期対比で、10%以上成長した主な分野は、情報通信(26.6%)、漁業(26.1%)、上水道、下水道、廃棄物管理および修復活動(25.4%)、電力(15.9%)などでした。

一方、建設業は2.0%減となった。これは、政府が投資家の信頼回復を目的とした財政支出の削減により、国内のインフラへの投資が低調であったことを反映している。

また、専門職・管理・サポート(-12.8)、行政・防衛・社会保障(-9.8)、不動産(-2.6)、教育(-2.0)、医療・社会福祉(-1.0)などのセクターも減少した。

国際通貨基金(IMF)は、2022年のガーナの経済成長率予測を、2021年10月に予測した6.2%から5.2%に引き下げた。また、ガーナ通貨のセディは今年、対米ドルで約22%も下落した。

一方、大手格付け会社2社は、GDPの80%を超える政府債務を抱えるガーナの信用力を引き下げ、国際資本市場からの調達が出来ないレベルの評価となっている。

アクラは、IMFに救済を求めるつもりはないと明言している。しかし、同国のKen Ofori-Atta財務大臣は最近、2022年の予算と外貨準備高を支えるために10億ドルのシンジケートローンを確認することを発表した。

5. ベルギー、カカオ豆に隠された900キロのコカインを押収(6/21)

ベルギーの税関は、コロンビアからのカカオ豆の出荷の中に隠されていた900キロのコカインを押収したと、税関が月曜日に発表した。先週木曜日にアントワープ港で発見・押収されたこの貨物は、約4500万ユーロ(4700万ドル)相当と推定される。

アントワープは、中南米との歴史的な貿易と果物の生産が盛んであることから、ヨーロッパ市場へのコカインの主要なゲートウェイとなっている。

コロンビア、ブラジル、エクアドル、パナマから出荷される麻薬は、しばしばバナナやパイナップルの荷物の中に隠されているが、密輸業者は港のチェックをかわす新しい方法を考え出し続けている。

ベルギーは2021年、アントワープで過去最高の8950万トンのコカインを押収したが、これは前年の3分の1に跳ね上がった。

税関の広報担当者がAFPに語ったところによると、今年は5月24日までの間に何トンも押収されており、平均すると昨年と同時期よりやや少ない量になるという。

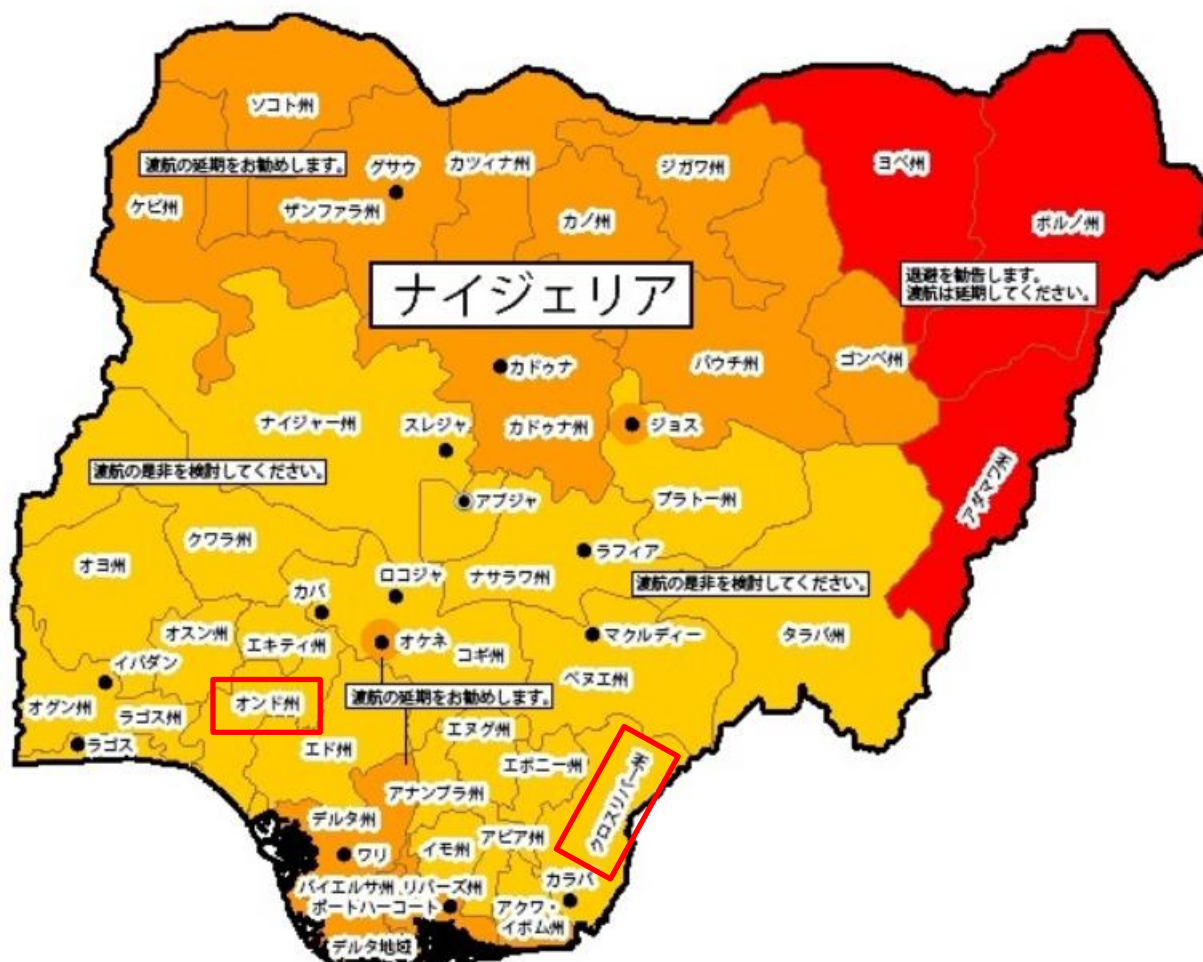
6. ナイジェリア・クロスリバー州のカカオの木が順調に成長、早期の収穫が見込まれる(6/23)

ナイジェリア第二の生産地であるクロスリバー州のカカオの木はよく実り、2022-23年のメインクロップの早期収穫が期待されるとナイジェリア・ココア協会の前会長、サイナ・リマン氏が水曜日に語った。

「この地域（クロスリバー）の雨は素晴らしいものです。3月以来、雨は止むことはありません」とダウ・ジョーンズ・ニュースワイヤーズに語りました。

リマン氏は、良好な天候のため、8月の第1週か第2週からメインクロップの早い収穫が始まるかもしれないと述べた。これは、ナイジェリアの南西部と南東部のカカオ地域で通常メインクロップの収穫が始まる9月より1ヶ月早いものである。

クロスリバー州は南東部最大のカカオ生産州で、南西部のオンド州に次ぐナイジェリア第二のカカオ生産州です。（クロスリバー州及びオンド州は下記の赤枠を参照のこと）



リマン氏は、2022-23年シーズンのクロスリバー州の主要作物の生産量の予測を避け、「天候が変わるかもしれないので、生産量の予測はまだ行いません」と付け加えました。

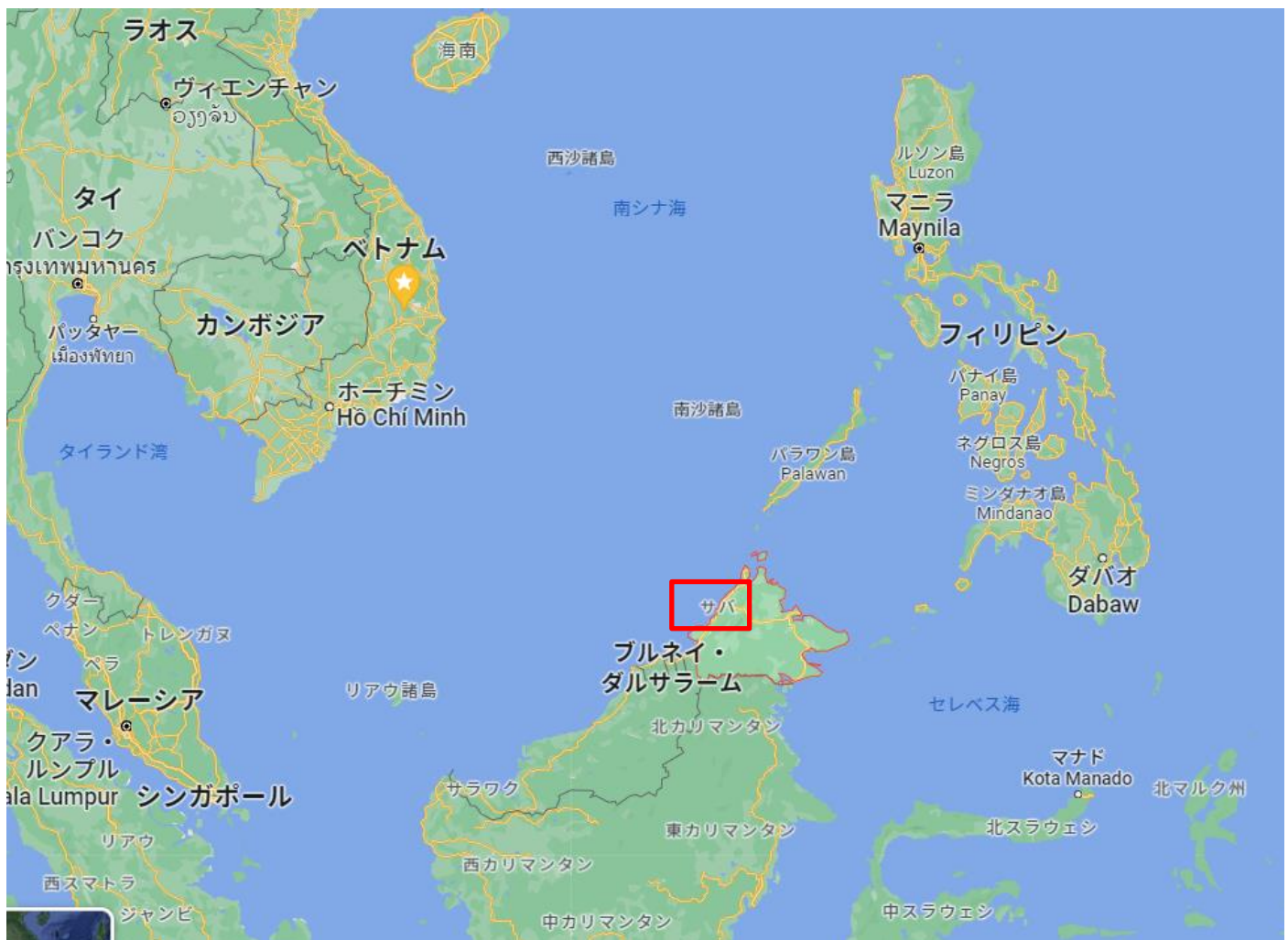
ナイジェリア気象局は、2月に発表した2022年の気候予測で、ナイジェリア南東部のカカオ生産地域の各州の年間降雨量は3,000ミリメートルと予想。また、オンド州農業省のカカオデスク、トバ・アデノウロ氏によると、カカオの木がよく実るには1シーズンに平均1,200ミリ（47.2インチ）の雨が必要だという。

ナイジェリア南東部の3つのカカオ生産州は、クロスリバー、アビア、アクワアイボムです。ナイジェリアの業界団体によると、これらの州はナイジェリアの年間ココア生産量28万トンの約30%を占めています。

7. マレーシア MPIC, サバ州で300ヘクタールのカカオ栽培地を新たに開設(6/23)

マレーシアのプランテーション産業・商品省(MPIC)は、ニュークロップス(TB)カカオ生産向上プログラム2022の下、サバの300ヘクタールの土地に新しいカカオ植林地を開設した。

*サバ州は、ボルネオ島北部にあるマレーシアの州で、山頂から鋭く突き出た花崗岩が特徴的な国内最高峰のキナバル山(標高4,095m)があることで知られています。また、ビーチや熱帯雨林、珊瑚礁、豊富な野生生物でも知られ、そのほとんどが自然公園や保護区内で保護されています。沖合のシパダン島とマプール島は、有名なダイビングスポットです。



MPICの副大臣 Datuk Willie Anak Mongin (以下、ウィリー)氏は、このプログラムでは特に、土地の開墾と整地には地元業者のサービスを利用することになると述べた。

「この取り組みにより、小さな生産者が負担しなければならない整地の金銭的・物理的負担が軽減されます」

これに先立ち、前述のウィリー氏はこの近くの Kampung Kiau Taburi で、RPKH TB 2022 プログラムの参加者が参加する Keluarga Malaysia 2022 Agrikomoditi Tour プログラムの司会を務めました。

マレーシア・ココア委員会（LKM）が開催した会合には、この村から合計 30 人の農民が参加しました。

ウィリー氏によると、RPHK TB 2022 プログラムは、新規植林プロジェクト、ミニ建設カカオ乾燥プロジェクト、また技術移転や拡大活動などを対象としているとのこと。彼は、キアウ地区のカカオ生産者のほとんどがキナバル山の観光ガイドとして働いていると述べました。また、同地区のカカオ農園の戦略的立地は、同地区を高い潜在能力を持つ観光の中心地として押し上げることができると考えているとのこと。

「したがって、キアウ地区でのカカオ産業発展のための将来的な計画は、この地区でのホームステイやレクリエーション産業の発展に合わせて、アグロ・ツーリズムも中心に据えることになるだろう」と述べた。

また、LKM はキアウ地区で新たにカカオ栽培のための 10 ヘクタールの土地を開発し、生産者が選択する作物としてアボカド栽培とカカオ栽培を統合する予定であるという。

8. コートジボアール新物、6/13-6/19 の週間着荷数量は 29,773 トン (6/20)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、29,773 トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は 30,411 トンであった。10 月 1 日のシーズン開始からの総着荷数量は、約 224 万トンとなっており、過去最高であった昨年同時期の推定値 228 万トンに近い数字

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボアのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan, や Cargill などの企業である。

以下は、10 月 1 日から 6 月 19 日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	300,431
アウトспан(オーラムグループ)	278,097
Saco 社(バリーカレボアグループ)	276,444
Touton 社	144,434
S3C 社	142,107
その他企業	1,101,939
合計	2,243,452

9. ガーナカカオ：議会で集荷業者の LBC の生産者への支払い遅延を指摘

ガーナ国内でカカオの集荷を任されている LBC の生産者へのカカオ購入代金の未払いが多発していると国会で指摘されている。指摘内容は、昨年も同様の問題があり、ココボッドは支払い遅延が内容に管理すると誤っていたにもかかわらず今年度も再び同じ問題が起きていると指摘している。

NDC 党の Kofi Adam 氏による国会での指摘による。下記にその国会中継。

<https://www.facebook.com/watch/?v=701628547588170>

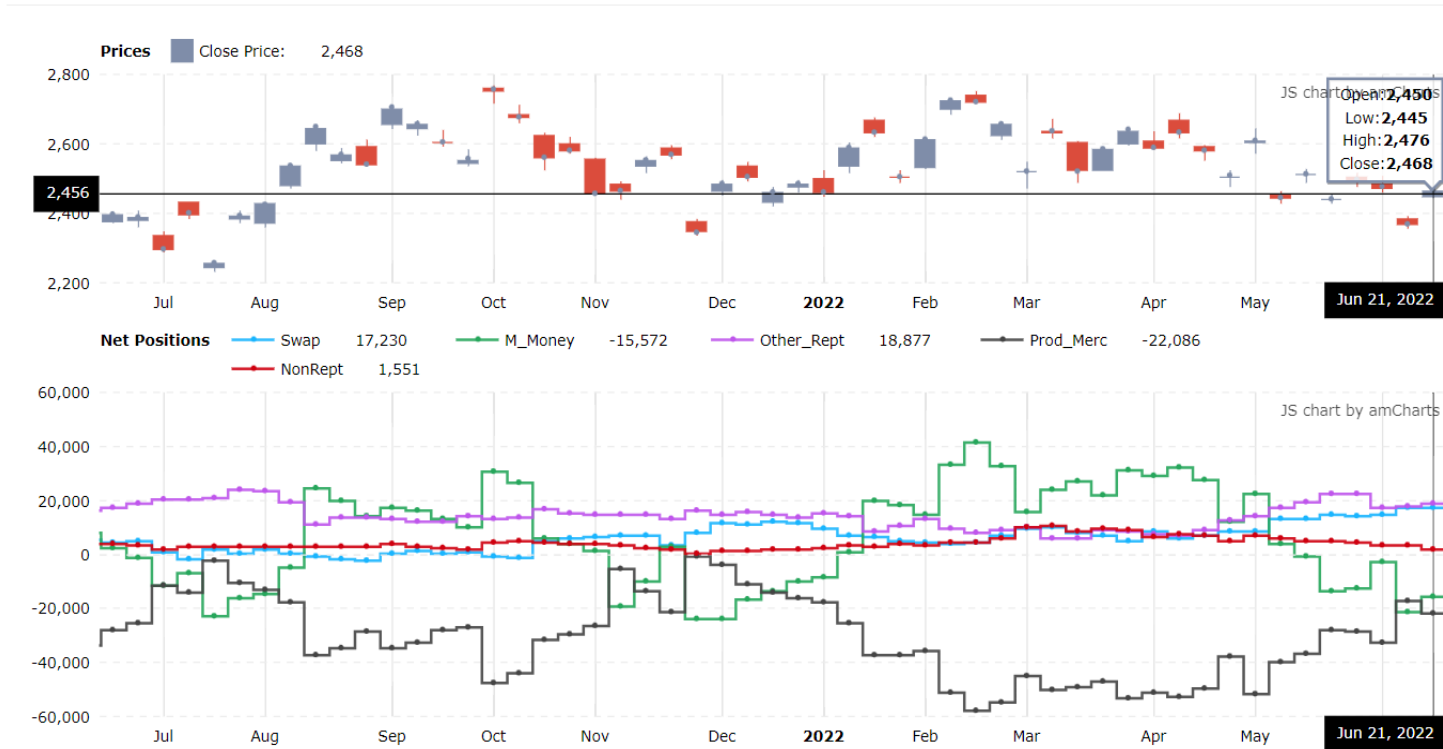
10. ファンド勢の NY 先物は純売り越しポジションが減少(6/25)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純売り越しポジションを 5,377 ロット増加 (先週は 18,314 ロット増加) させ、15,281 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6 月 21 日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 1,740 増加 (先週 404 ロット減少) し、67,557 ロット となった。
- 総買い数量の合計は過去 18 週で最も高い。
- 総売り数量は 3,637 減少 (先週は 17,910 ロット増加)、82,838 ロット となった。

参考分析資料；過去 1 年の NY 市場の実需家 V S 投機筋のポジションと相場価格

Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

11. ファンド勢のLDN先物は純買い越しポジションが更に減少し、純売り越しに近接(6/24)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 5,867 減少 (先週は 5,159 ロット減少) させ、244 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月21日) の取引が含まれている。

- 総買い数量は 4,422 ロット減少 (先週 1,731 ロット減少) し、21,807 ロットとなった。
- 総売り数量は 1,445 ロット増加 (先週 3,428 ロット増加) し、21,563 ロットとなった。

ロンドン市場は、先週時点ではNY市場に比較すればまだ“売られ過ぎ”の状態にはなかったが、今週も買いポジション減少と売りポジションの増加が継続し、純買い越しポジションから純売り越しポジションに移行しそうな雰囲気となっている。投機筋は基本的には純買いポジション (買いポジションの方が売りポジションよりも多い状態) である事が多い為、純売り越しポジションになっている状態では、かなり弱気な状態と言えるだろう。

参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

Commitments of Traders Futures and Options

ICE Futures Europe

21/06/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
21/06/2022	308184	168323	174798	30974	33394	21296	21807	21563	22841

Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader

21/06/2022	100%	54.6%	56.7%	10.1%	10.8%	6.9%	7.1%	7.0%	7.4%
------------	------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------

Number of Traders in Each Category

21/06/2022	151	51	47	12	10	12	26	17	18
------------	-----	----	----	----	----	----	----	----	----

12. 新商品情報：不二製油「サステナブル・オリジン」を適用した「カカオクオリー」

おいしいチョコレートの未来を守ろう

～サステナブルカカオ原料を用いた製品販売のお知らせ～

不二製油株式会社（本社：大阪府泉佐野市、代表取締役社長：大森 達司 以下、不二製油）は当社独自のサステナブルカカオ原料調達プログラムである「サステナブル・オリジン」を適用したピュアチョコレート（※）『カカオクオリー』の販売を6月1日より開始いたします。

不二製油グループは中期経営計画（2022～2024年度）において、「サステナビリティの深化」を掲げ、サステナブル調達を推進してまいります。このプログラムに準じた原料の調達、使用、製品の販売を行うことで、カカオ農家の生活環境改善、児童労働撤廃、森林保護または再生を支援してまいります。

■『カカオクオリー』とは 『カカオクオリー』は、カカオ豆の選定、品質管理、そして製造工程のすべてを原点に戻って見直し、これまで以上に品質にこだわったピュアチョコレートの新シリーズです。消費者の皆さまが求める食の多様性を追求し、これまで培った技術を集結させた、＜JAPAN QUALITY＞の高級チョコレートです。 ※写真は「カカオクオリー ブレンドビター65、ガーナ 66、エクアドル 70、ブレンドミルク 40」



■サステナブル・オリジンとは 『サステナブル・オリジン』は不二製油独自のサステナビリティ支援プログラムです。世界的に需要の高まるチョコレートは、原料となるカカオ生産現場の児童労働や環境破壊など、多くの課題を抱えています。そのような生産現場の課題を改善するアクションを支援し、基準を満たしたカカオ豆にプレミアム（支援金）をつけて購入することで、健全で持続可能なカカオ生産・流通の構築を目指します。

サステナブル・オリジンの目指すもの

1. サプライチェーン上の児童労働撤廃
2. カカオ農家の生活環境の改善
3. 森林破壊の防止と森林保全

※ピュアチョコレート：カカオ成分として、ココアバター又はカカオマスとココアバターのみを原料としているチョコレートを指します。「チョコレート公正競争規約」に基準が規定されております。

上記情報は、下記より抜粋

https://www.fujioil.co.jp/news/2022/_icsFiles/afieldfile/2022/05/25/220601_sustainable_cacao.pdf

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。